

Mizuho Daily Market Report

2023/9/6

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	146.92	147.72	+1.25	+1.84
EUR	1.0757	1.0722	▲0.0074	▲0.0158
AUD	0.6377	0.6379	▲0.0082	▲0.0102
SGD	1.3608	1.3613	+0.0064	+0.0117
CNY	7.2994	7.3033	+0.0287	+0.0226
MYR	4.6624	4.6652	+0.0094	+0.0192
THB	35.45	35.46	+0.24	+0.33
IDR	15270	15265	+25	+5
PHP	56.88	56.83	+0.19	+0.07
INR	82.99	83.04	+0.29	+0.33

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.260%	+8.1 bp	+14.0 bp
日本(10年)	0.658%	+1.4 bp	+0.5 bp
ユーロ圏(10年)	2.612%	+3.3 bp	+10.2 bp
オーストラリア(5年)	3.863%	+1.7 bp	▲1.0 bp
シンガポール(5年)	3.123%	+1.2 bp	▲6.8 bp
中国(5年)	2.456%	▲0.5 bp	+3.6 bp
マレーシア(5年)	3.600%	+0.4 bp	+0.6 bp
タイ(5年)	2.605%	+4.1 bp	+8.7 bp
インドネシア(5年)	6.177%	+7.3 bp	▲12.4 bp
フィリピン(5年)	6.126%	+7.9 bp	+8.4 bp
インド(5年)	7.187%	+0.3 bp	+0.3 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	34,641.97	▲0.6%	▲0.6%
N225(日本)	33,036.76	+0.3%	+2.5%
STOXX50(ユーロ圏)	4,269.16	▲0.3%	▲1.3%
ASX(オーストラリア)	4,055.78	▲0.2%	▲0.3%
FTSTI(シンガポール)	3,226.83	▲0.4%	+0.1%
SSEC(中国)	3,154.37	▲0.7%	+0.6%
KLSE(マレーシア)	1,454.83	▲0.5%	+0.0%
SETI(タイ)	1,547.86	▲0.1%	▲1.3%
JKSE(インドネシア)	6,991.708	▲0.1%	+0.5%
PSE(フィリピン)	6,225.00	+0.2%	+0.0%
SENSEX(インド)	65,780.26	+0.2%	+1.1%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	284.92	+0.2%	+1.8%
金	1,926.12	▲0.9%	▲0.6%
原油(WTI)	86.69	+1.3%	+6.8%
銅	8,482.50	+0.5%	+0.9%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	147.10	-	148.20
EUR/USD	1.0670	-	1.0780
AUD/USD	0.6320	-	0.6420
USD/SGD	1.3570	-	1.3660
USD/CNY	7.2960	-	7.3380
USD/MYR	4.6350	-	4.6930
USD/THB	35.25	-	35.60
USD/IDR	15220	-	15300
USD/PHP	56.80	-	57.18
USD/INR	82.75	-	83.30

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は146円台半ばでオープン。朝方から底堅く推移し、円安が進行した。先週末の米雇用統計後から続くドル高基調に、五・十日のドル買い需要もあってかじりじりと水準を上げ、147円手前まで上値を伸ばし、そのまま海外時間に渡った。アジア新興国通貨は、韓国ウォンとタイバーツの下げが目立っている。韓国8月CPIは前年比+3.4%に加速し、市場予想2.7%を上回った。前月比では2017年初頭以来の高い伸びとなった。タイ8月CPIは前年比+0.88%と前月加速し、市場予想の0.61%も上回った。

海外時間のドル円は、米金利が上昇する展開を背景に底堅く推移し、147円台に乗せ、147円前半でNYオープン。朝方は147円台半ばまで続伸。その後、ウォラーFRB理事が「データは差し迫って何かをする必要を示していない」との発言に売りに反応し、147円台前半まで反落するも、すぐに水準を戻す。続いて発表された米7月製造業受注(前月比)が予想より改善された結果を受け買いが強まり、147円台後半近辺まで上げ幅を拡大。午後は米金利が引き続き高水準で推移する動きを眺めながら、高値圏の147円台後半を中心とした値動きが続き、年初来高値を更新。その後小動きとなり、147円台後半でクローズ。

【金利】

米債市場はほぼ平行に前週終値比で金利大幅上昇。レイバーデーのロングウィークエンド明けの債券市場は、朝方に発表された7月製造業受注、耐久材受注の結果は影響薄となり、米国の景気減速は限定的で、金利は高値維持するとの見方が広がったことから、10年債の利回りは一時4.27%に迫るところまで上昇した。

【予想】

本日のドル円は引き続き、底堅い推移を予想。昨日はサウジの自主減産ヘッドラインで原油価格が急騰したことでドル買いをサポート。足元も堅調な米経済指標を背景にドル買いが継続しており、本日本公表予定の米ISM非製造業景況指数などが引き続き堅調な結果となれば、一段のドル買いには留意したい。

【本日の予定】

(アジア) 2Q 豪 GDP
(アジア) 8月 ベトナム 国内自動車販売台数
(欧州) 7月 ユーロ圏 小売売上高
(欧州) 7月 ユーロ圏 小売売上高
(欧州) 7月 独 製造業受注
(欧州) 8月 独 建設業PMI
(欧州) 8月 英 建設業PMI
(欧州) 独 国債入札(10Y)
(米国) 7月 貿易収支
(米国) 8月 ISM非製造業景況指数
(米国) 8月 サービス業PMI(確)
(米国) MBA住宅ローン申請指数
(米国) コリス・ホストン連銀総裁講演
(米国) ペーजूブック
(米国) ローガン・ダラス連銀総裁講演

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。